



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 クリナップ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7955 URL <http://cleanup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 佐藤 茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理部長 (氏名) 川田 和弘

TEL 03-3894-4771

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	53,085	6.5	601	51.6	626	45.7	316	66.2
29年3月期第2四半期	56,747	0.6	1,242	211.6	1,153	317.4	935	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 758百万円 (4.7%) 29年3月期第2四半期 796百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	8.64	
29年3月期第2四半期	22.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	86,880	53,005	61.0	1,448.48
29年3月期	84,369	52,615	62.4	1,437.82

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 53,005百万円 29年3月期 52,615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		10.00	20.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,300	3.0	1,400	29.6	1,300	27.6	700	47.7	19.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	37,442,374 株	29年3月期	41,942,374 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	848,537 株	29年3月期	5,348,487 株
----------	-----------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	36,593,862 株	29年3月期2Q	41,592,224 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)期末自己株式数には、「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式(30年3月期2Q 297,960株、29年3月期 298,080株)が含まれております。また、「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(30年3月期2Q 298,010株、29年3月期2Q 299,813株)。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成29年11月16日(木)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られる一方、個人消費の伸び悩みは継続し、依然として不透明な状況で推移いたしました。

住宅設備機器業界におきましては、新設住宅着工戸数の伸びが鈍くなったのに加え、リフォーム市場の低迷が続き、厳しい状況となりました。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社をいう。以下同じ。）は、『流レールシンク』を標準装備したシステムキッチン「S. S.」や「クリンレディ」、平成29年9月に収納提案“スタイルシェルフ”を搭載して新発売したシステムバスルーム「ユアシス」、インテリアトレンドに因應するため扉色を刷新したコンパクトキッチン「コルティ」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るため、平成29年9月に首都圏リフォームに重点を置いた江戸川ショールームを新設いたしました。また、全国103ヶ所となったショールームにてイベントを開催し、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、引き続き、東西の生産拠点での生産性向上、VE活動を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.5%減の530億8千5百万円となりました。利益面では営業利益は同51.6%減の6億1百万円、経常利益は同45.7%減の6億2千6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同66.2%減の3億1千6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は868億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ25億1千1百万円増加いたしました。流動資産は538億4百万円となり、3億6百万円増加いたしました。これは電子記録債権が25億9千3百万円、商品及び製品が8億7千7百万円増加した一方、現金及び預金が4億2千2百万円、受取手形及び売掛金が21億8千万円、有価証券が4億9千8百万円減少したこと等によります。固定資産は330億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億5百万円増加いたしました。これは主にリース資産の増加によって有形固定資産が11億3千8百万円増加、投資その他の資産が11億8千3百万円増加したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は338億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億2千1百万円の増加となりました。流動負債は主に、短期借入金が14億6千9百万円、電子記録債務が8億6千3百万円増加した一方、買掛金が2億8千2百万円減少したこと等により21億6千6百万円増加し、254億4千9百万円となりました。固定負債は主にリース債務（固定負債その他）の増加13億3千2百万円と長期借入金の減少14億6千8百万円等により4千4百万円減少し、84億2千6百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は530億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千9百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益3億1千6百万円、配当金の支払い3億6千8百万円、その他有価証券評価差額金の増加4億2千9百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の62.4%から61.0%になりました。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9億2千2百万円（4.2%）減少して209億7千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は13億1千7百万円（前年同期比18.1%減）となりました。これは税金等調整前四半期純利益が6億1百万円、減価償却費が17億3百万円、仕入債務の増加5億8千2百万円があった一方、たな卸資産の増加9億4千5百万円、法人税等の支払額3億5千4百万円があったこと等によるものです。

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は17億6千3百万円（前年同期比20.9%増）となりました。これは生産設備の改修、ショールーム移転・改装等により有形固定資産の取得による支出が8億6千9百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の取得による支出が4億3千5百万円、投資有価証券の取得による支出が5億2百万円あったこと等によるものです。

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は4億6千3百万円（前年同期は2億8千8百万円の獲得）となりました。これは長期借入金の返済による支出が17億9千9百万円、配当金の支払いが3億6千8百万円あった一方、短期借入れによる収入が18億円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、横ばいで推移する新設住宅着工戸数に加え、リフォーム市場の本格的な活性化には時間がかかると思われ、先行き不透明な厳しい状況で推移するものと思われま

す。このような中、当社グループはご好評をいただいている『流レールシンク』を標準装備したシステムキッチン「S. S.」や「クリンレディ」、平成29年9月に新発売したシステムバスルーム「ユアシス」などを中心として売上拡大に努めてまいります。また、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供を引き続き強化し、会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーと連携してリフォーム需要を喚起し、効果的な販売活動に注力してまいります。

さらに、生産設備の整備、情報基盤整備等への投資の一方、生産面での原価低減、全社的なコスト削減にも努めてまいります。

以上により、現時点での業績予想につきましては、平成29年11月1日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,896	20,473
受取手形及び売掛金	17,720	15,540
電子記録債権	8,694	11,288
有価証券	1,996	1,498
商品及び製品	1,130	2,007
仕掛品	112	121
原材料及び貯蔵品	974	928
その他	1,976	1,945
貸倒引当金	△4	—
流動資産合計	53,498	53,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,911	8,801
その他(純額)	12,346	13,593
有形固定資産合計	21,257	22,395
無形固定資産	2,830	2,714
投資その他の資産		
投資有価証券	4,119	5,202
その他	2,717	2,816
貸倒引当金	△54	△52
投資その他の資産合計	6,782	7,965
固定資産合計	30,870	33,075
資産合計	84,369	86,880

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,557	6,275
電子記録債務	5,202	6,065
短期借入金	3,379	4,848
未払金	4,866	4,946
未払法人税等	535	403
賞与引当金	1,147	1,183
資産除去債務	5	4
その他	1,588	1,721
流動負債合計	23,282	25,449
固定負債		
長期借入金	3,962	2,493
退職給付に係る負債	1,081	920
役員退職慰労引当金	416	416
株式給付引当金	168	196
資産除去債務	384	390
その他	2,458	4,007
固定負債合計	8,470	8,426
負債合計	31,753	33,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	29,391	25,912
自己株式	△4,113	△686
株主資本合計	50,897	50,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,264	1,693
為替換算調整勘定	35	22
退職給付に係る調整累計額	418	444
その他の包括利益累計額合計	1,718	2,160
純資産合計	52,615	53,005
負債純資産合計	84,369	86,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	56,747	53,085
売上原価	37,885	35,164
売上総利益	18,862	17,921
販売費及び一般管理費	17,619	17,320
営業利益	1,242	601
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	56	64
仕入割引	143	137
その他	87	88
営業外収益合計	291	296
営業外費用		
支払利息	11	18
売上割引	331	230
その他	37	21
営業外費用合計	380	271
経常利益	1,153	626
特別利益		
固定資産売却益	0	—
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	311	—
補助金収入	—	171
特別利益合計	312	171
特別損失		
固定資産除売却損	24	18
投資有価証券評価損	—	35
固定資産圧縮損	—	125
減損損失	2	16
特別損失合計	27	196
税金等調整前四半期純利益	1,438	601
法人税等	503	285
四半期純利益	935	316
親会社株主に帰属する四半期純利益	935	316

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	935	316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	429
為替換算調整勘定	△111	△12
退職給付に係る調整額	16	26
その他の包括利益合計	△139	442
四半期包括利益	796	758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	796	758
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,438	601
減価償却費	1,794	1,703
賞与引当金の増減額 (△は減少)	102	28
厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少)	△893	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△14	△94
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△491	△945
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,172	582
未払金の増減額 (△は減少)	△2,490	177
固定資産圧縮損	—	125
補助金収入	—	△171
その他	95	△399
小計	1,714	1,608
利息及び配当金の受取額	60	70
利息の支払額	△11	△16
法人税等の支払額	△217	△354
法人税等の還付額	62	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,608	1,317
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△628	△869
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△328	△435
投資有価証券の取得による支出	△502	△502
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	33
その他	0	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,458	△1,763
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	1,800
長期借入れによる収入	1,800	—
長期借入金の返済による支出	△1,033	△1,799
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△418	△368
その他	△58	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	288	△463
現金及び現金同等物に係る換算差額	△90	△13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	347	△922
現金及び現金同等物の期首残高	21,811	21,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,159	20,973

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月9日開催の取締役会決議に基づき、平成29年5月31日付で、自己株式4,500,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ3,426百万円減少しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当社の連結子会社であったクリナップ岡山工業株式会社は、平成29年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併を行ったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、平成29年4月3日に情報システム関連の会社である株式会社エイチエスケイの全株式を取得し、同社を連結子会社としたため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、同社の連結子会社化に伴い、商号をクリナップソリューション株式会社に変更しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

当社グループは、住宅及び店舗・事業所用設備機器関連事業とその他事業を行っておりますが、報告セグメントは単一セグメントであり、重要性が乏しいため、記載を省略しております。